

本日、林市長が、 菅 内閣官房長官、上野 文部科学副大臣へ 提案・要望を行いました

本日（11月12日）、林市長が、菅 義偉 内閣官房長官、上野 ^{みちこ} 文部科学副大臣に対して、
 国の制度及び予算に関する提案・要望を行いましたので、お知らせします。

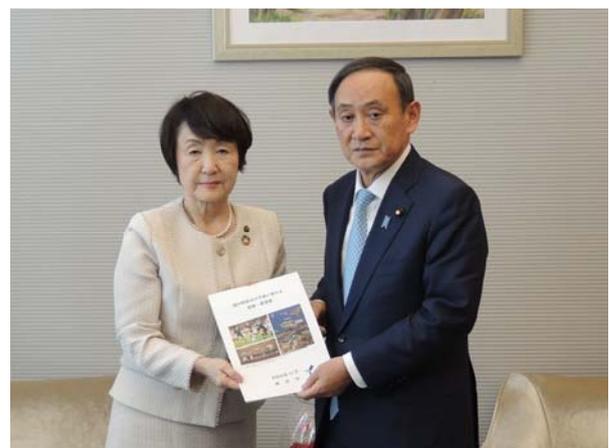
1 日時・提案先・提案内容

日時	提案・要望先	主な提案・要望内容
10時30分 ～10時45分	文部科学省 上野 通子 文部科学副大臣	・ 文化芸術立国の先導的役割を担う新たな劇場の実現
11時30分 ～11時40分	内閣官房 菅 義偉 内閣官房長官	・ 横浜市の提案・要望（全体説明）

2 提案・要望の様子 ※写真データを希望される場合は、お問合せ先までご連絡ください。



（上野 通子 文部科学副大臣）



（菅 義偉 内閣官房長官）

裏面あり

3 林 市長コメント

上野 通子 文部科学副大臣からは、新たな劇場の実現について、「海外には、文化芸術から経済が発展した都市も多く、子どもの頃から一流の文化に触れられる環境がある。国内の中核都市である、横浜市の取組に期待している。文部科学省として何ができるか、あらゆる支援を集約して、検討していきたい。」との力強いコメントをいただきました。

菅 義偉 内閣官房長官には、このたびの提案・要望内容をしっかりと受け止めていただきました。

来年度の政府予算編成が終盤を迎える中、「文化芸術立国の先導的役割を担う新たな劇場の実現」や「官民連携によるイノベーション都市・横浜の推進」など、横浜市の持続的な成長・発展につながる政策、そして、台風被害からの早期の復旧・復興、激甚化・頻発化する災害への備えの強化など、国の積極的な財政支援が必要な政策について、提案・要望をいたしました。

いずれも横浜市が直面する課題の解決と、我が国の持続的な成長に必要な提案であり、とりわけ、新たな劇場整備の重要性についてご説明し、ご理解をいただきました。

今後とも国と連携し、事業の推進につなげてまいります。

※今回の提案・要望書は以下のサイトでご覧になれます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/bunken/yobo/2019teian.html>

お問合せ先

政策局大都市制度推進課地方分権担当課長 瀧澤 朋之 Tel 045-671-2109